

平成 24 年度事業計画

当財団は公益法人への移行のため準備を進めてきたところであるが、今年度秋の申請を目指し、公益財団法人への認定申請の準備を進めるものとする。

また、地域経済、地場産業を取り巻く環境が依然として厳しい状況が続いている中、地場産業の振興拠点施設としての役割機能をさらに強化し、産地の基礎力を高めるための振興事業の充実を図る。

新規事業としては、高岡地域の伝統工芸を JR 九州の車両・SONIC883 系車両（博多～大分）内に展示し、地域・観光客の方々にご紹介する「高岡地域伝統工芸情報発信事業」を実施する。

1 一般振興事業

(1) 需要開拓事業の推進

①見本市への出展および出展のための事前情報提供の充実

伝統的工芸品産業支援事業及び富山県地域産業活性化事業の採択を受けて東京で新商品を展示・紹介し、消費者ニーズの把握と新たな需要開拓に努める。今年度は出展前より専門家による幅広い情報提供を実施し、マーケティング、広報の工夫、商品開発、実店舗の充実、インターネットの活用等、各産地・各企業の基礎体力を上げるための支援を行う。

- ・ターゲットを絞った商品展開について
- ・商品を買う側の視点について 等

②全国の地場産業振興センターが開催するイベントへの出展等

全国の地場産業振興センターが開催するイベントに伝統的工芸品や地場産品等を出展・紹介し、高岡地域の地場産品のPRを行う。

④「D. front」の運営

御旅屋通において伝統的工芸品を中心とした地場産品の企画展示を行い、地域内外の方への魅力的な情報提供に努める。

⑤外部展示場での地場産品の展示・紹介（高岡商工会議所）

(2) 人材育成事業の実施

①「ものづくり・デザイン科」への支援

高岡市内の小・中・養護学校の児童・生徒の体験実習を支援するため体験工房、展示即売場、産業資料館を活用し、学校、業界とも連携し、伝統的工芸品への理解と「ものづく

り」への関心を高める。

②教職員等指導者の育成

県の補助事業の採択を受けて、児童生徒の指導のできる教職員等指導者を養成する。

③ものづくり体験教室の開催(体験工房活性化事業)・Nものづくり体験講座の開催

観光客や市民の要望に応じてものづくり体験教室を実施する。加えて、地域の伝統的工芸品に親しみを持っていただけるよう、企画講座の開催を行う。

④N 伝統工芸とやまブランド力向上支援事業

経営コンサルタントや百貨店のバイヤーなど伝統的工芸品産業のサポート実績のある方をプロデューサー（講師）として招き、手法等を学ぶことができるセミナーを開催する。さらに、個別相談会をセミナーと併せて実施することにより、各事業所が自社の工芸品の魅力や課題を再整理し、販売促進にむけた商品のストーリー・コンセプト作りに向け支援することで、「伝統的工芸品」から「こだわりの逸品」を目指し、伝統的工芸品のブランド力向上を図る。

(3) 伝統工芸産地再生事業の推進

専任の職員による伝統工芸産業振興の推進に努める。

(4) 情報収集・提供事業の充実

①ホームページの充実

高岡地域地場産業センターホームページの充実を図る。

②全国地場産業振興センター協議会への参加、情報交換

総会や中部ブロック会議に参加し、地場産業の振興方策、センターの運営、公益法人化に向けた対応等について情報交換を図る。

(5) 伝統産業団体等支援事業

①新商品開発、新作品創作への支援

工芸都市クラフトコンペティションや高岡漆器新作展などに支援し、新商品開発、新作品の創作を助成する。

②伝統的工芸品産業団体への運営支援

・富山県伝統工芸士会事務局の運営

総会・役員会の開催や富山県伝統工芸士展の開催等を支援する。

- ・富山県伝統産業協議会事務局の運営
 - ・高岡地域文化財等修理協会事務局の運営
- 協会の円滑な運営を図るため、事務処理等を支援する。

(6) 文化財等修理産業創出支援事業

高岡地域文化財等修理協会を中心とした伝統工芸技術者の育成・確保及び技術の向上・継承並びに修理工事の受注拡大を支援する。

今年度は漆工・木工・彫刻関係者を対象に、「彩色」「からくり」の専門技術・技法の習得講座を実施する。

(7) 文化財等修理機能充実事業

実際の文化財修復を通して、高岡地域の伝統的工芸技術の職人技を継承するため、平成 23 年度に記録を行った画像や作業工程・計測データをもとに、高度な工芸技術の保存継承に資する資料の整備を行う。

(8) 産・学・官連携事業

① N 高岡地域伝統工芸情報発信事業

平成 26 年の北陸新幹線開業を見据え、広く当地域の産業・産品の情報発信を行っていくことが必要である。その一環として、J R 九州の人気車両である SONIC883 系車両（博多～大分間）において、富山大学芸術文化学部、高岡市と連携し、車両内の展示ブースに高岡地域の伝統的工芸品の紹介展示を行う。

展示期間：平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月（半年入替）

展示車両数：ソニック 883 系全 8 車両にて 各 4 点ずつ、計 32 点

SONIC883 系とは：1995 年に開業した、九州の玄関口博多と湯の町大分を約 2 時間半で結ぶ特急列車。デザイナー・水戸岡鋭治氏のプロデュースによる斬新な車体・内装を備え、開業当時には鉄道業界にとどまらず、インテリア、ファッション等の関連業界で広く話題となった。95 年にグッドデザイン賞、96 年にブルーリボン賞、ブルネル賞を受賞している。

② 漆木の育成

新たに、九州産の漆木の植樹を行い、平成 21 年度（石川県輪島産）22 年度（茨城県大子産）に植樹した漆木の生育と管理を引き続き行う。

(9) 産業資料館運営事業

県内の伝統的工芸品についての歴史や製造工程を紹介し、伝統工芸士等の作品を展示することにより伝統工芸品の普及を図る。

(10) 施設管理運営事業

①施設の管理

建物、機械設備、照明機器の管理に万全を期するため、施設の整備に努める。

②職員研修事業

職員の知識の向上を図るため、各種研修会等に参加し資質向上に努める。

(11) 公益法人制度改革への対応

定款変更など移行申請に向けた取り組みを行う。

2 収益事業

(1) 地場産品の展示紹介・販売促進

地場産品のPRの為、展示販売場を運営し、新商品や季節毎の商品を展示するとともに、ホームページでの紹介にも努める。

(2) 貸し会議室等の利用促進

老朽箇所の修繕を随時行い、利用者の利便性の向上を図る。

会議用備品の整備、大・小ホール内の照明等の環境整備に努め施設の利用促進を図る。